



2026年3月9日

各 位

会 社 名 阪神内燃機工業株式会社  
代 表 者 名 代表取締役社長 木下 和彦  
(コード番号 6018 東証スタンダード市場)

## メタノール燃料エンジン LA28M-DF の開発について

阪神内燃機工業株式会社（代表取締役社長：木下和彦）はこのたび、船舶用メタノール燃料エンジン（形式：LA28M-DF、定格出力：1,103 kW、定格回転数：330 min<sup>-1</sup>）を開発いたします。

当社は2024年に世界初の船舶用低速4サイクルメタノール専焼エンジン LA28M を開発しており、本機関は LA28M を改良し、A重油とメタノールそれぞれを燃料として定格出力で運転できる DF（デュアルフューエル）エンジンとしています。LA28M-DF では燃料噴射系は構造がシンプルでメンテナンスが容易な機械式制御で DF 化を行います。

本開発は、将来の燃料環境の変化や運航条件の不確実性を見据え、船舶用エンジンメーカーとして、さまざまな燃料選択に対応可能なエンジンを提供することを目的としています。本機関は、当初はA重油での運用を前提としつつ、将来的にメタノール燃料へ転換する船舶にも対応できるよう設計しており、燃料転換期においても使用可能なエンジンソリューションを実現いたします。

これにより、メタノール燃料の普及状況や、航海ルート・寄港地における燃料供給条件に左右されにくいエンジンの提供が可能となります。また、実際の運用においては、燃料価格動向に応じた選択が可能となるなど、環境対応と経済性の両立に寄与するエンジンとして、持続可能な船舶運航を技術面から支えます。

今後のスケジュールは、2027年3月試験機完成、以降、試験運転実施予定です。

当社は今後も内航船用エンジンのトップシェアを占める企業として内航海運におけるカーボンニュートラル実現に貢献してまいります。

以上

(補足資料)

機関要目：基本要目は専焼エンジン LA28M と同一とする

	単位		
機関形式		LA28M-DF	LA28M
シリンダ径	cm	28	28
シリンダ数		6	6
出力	kW	1103	1103
回転数	min <sup>-1</sup>	330	330

設計コンセプト (LA28M からの変更点)

- ・パイロット燃料噴射用燃料ポンプのプランジャを大径化して A 重油の噴射量を増大
- ・プランジャ大径化による燃料カム、カム軸、伝動歯車の強度見直し
- ・その他構造は LA28M と同じ

**【本件に関するお問い合わせ先】**

明石市貴崎 5 丁目 8 番 70 号

阪神内燃機工業株式会社 明石工場

技術統括本部 設計開発グループ

TEL (078) 923-3408